

平成 27 年度伊達市事業説明書

知ってください 今年取り組み



伊達市

伊達市事業説明書の発刊に当たって

市が行う事業には、すべて予算が必要です。

このため、その年度の事業に伴うすべての収入・支出等を記載した予算書を作成し、3月議会において議決承認を受けた上で、事業を執行しています。

ですから、その年度の予算書を見れば、どのような事業が行われるか知ることが出来ますが、予算書は極めて事務的で一般の人には分かりにくいのが現状です。

そこで、当市が今年度取り組む事業について、市民の皆さんに理解をして頂くために、出来るだけ分かりやすい予算書を、ということから作成したものが本書「伊達市事業説明書（知って下さい、今年度の取り組み）」であります。

平成27年度は合併後10年目、震災後5年目という節目の年に当たります。

昨年度には、懸案の梁川小学校の改築が完成し、子ども達も狭い仮設校舎から解放されるなど復興復旧に一定の前進がありました。一方では、合併特例期間が間もなく終わりますから、市が自立していくための基盤を一層確実なものにしなくてはなりません。さらには復興道路の建設も順調に進み、当市を取り巻く環境も大きく変わりつつあります。

こうしたことから、第2次総合計画を策定し、かつ、新市建設計画の見直しも行き、新たな展開を図るべき年であるとの認識に立って予算編成を行ったところです。

放射能に対する安全・安心への取り組みを一層進めると共に、進行する少子高齢社会に対して、「安心して歳がとれ、子育ての出来るまち」を目指す取り組みに全力を挙げる必要があります。また、人口減少社会に直面していることを認識し、国の政策に呼応し、当市の実情に合わせた対策に取り組む必要があります。

そのためにも、「健幸都市（SWC）」建設への取り組みを加速し、元気な高齢者が社会を支える一方、交流館を拠点として地域自治能力を高め、「共助」の精神により「地域が家族」となる社会を目指していかなければなりません。

今年度も各種事業を推進し、市民の皆さんと共に、「安心して暮らせるまち、伊達市」を目指して取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

平成27年4月

伊達市長 **仁志田昇司**

目次

平成 27 年度当初予算のポイント

特集『更なる飛躍に向けた 今年のいち押し事業』

1 人口減少社会への対応「まち・ひと・しごと創生」

(1)安定した雇用創出	10
(2)新しいひとの流れを作る	12
(3)若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる	16
(4)時代にあった地域づくり、安心な暮らし、地域と地域の連携	20
(5)消費喚起・生活支援	26

2 震災からの復興事業

27

3 放射能対策

(1)放射線情報の把握と情報発信による安全の確立	29
(2)安全を安心につなげる信頼の醸成	31
(3)絆を強め新たな産業力の創出	35

第 2 次総合計画事業

【政策 1】ともに紡ぐ協働のまちづくり

1-1 地域の個性を活かしたまちづくりの推進	38
1-2 生活安全体制の強化	45
1-3 持続可能な行政経営の推進	50

【政策 2】豊かな心を育むまちづくり

2-1	子どもの健やかな育ちと子育て支援の充実	60
2-2	「生きる力」を育む学校教育の充実	63
2-3	心を育む生涯学習の推進	71
2-4	文化財の保護と芸術文化の振興	77

【政策 3】地域の魅力が輝くまちづくり

3-1	農林業の振興と担い手の育成	82
3-2	地域活力を生み出す商工業の振興	88
3-3	集客資源の創出と充実	89

【政策 4】こころ寄り添う健やかなまちづくり

4-1	ともに支え合う福祉の充実	92
4-2	生涯元気なまちづくりの推進	98
4-3	健康づくりの推進	104

【政策 5】自然と調和し快適で住みよいまちづくり

5-1	快適な生活環境の形成	112
5-2	市民生活を支える交通網の充実	114
5-3	快適で便利な居住空間の創出	130
5-4	安全・安心な水環境の形成	132

資料編

当初予算の概要	138
市の財政状況	139
補助金支出先	147
施設維持管理費	152
用語の説明	155
基金の説明	156
巻末索引	157
問い合わせ先	164

第2次総合計画のあらまし

わたしたちが実現を目指す
伊達市の将来都市像

健幸と個性が創る

政 策

政策
1

ともに紡ぐ協働のまちづくり

政策
2

豊かな心を育むまちづくり

政策
3

地域の魅力が輝くまちづくり

政策
4

こころ寄り添う健やかなまちづくり

政策
5

自然と調和し快適で住みよいまちづくり

特別対策

放射能を克服するまち

基本事業1

放射線情報の把握と
情報発信による安全の確立

基本事業2

安全を安心につなげる信頼の醸成

基本事業3

絆を強め新たな産業力の創出

ふるさと 活力と希望あふれる故郷 伊達市

施策

1. 地域の個性を活かしたまちづくりの推進
2. 生活安全体制の強化
3. 持続可能な行政経営の推進

1. 子どもの健やかな育ちと子育て支援の充実
2. 「生きる力」を育む学校教育の充実
3. 心を育む生涯学習の推進
4. 文化財の保護と芸術文化の振興

1. 農林業の振興と担い手の育成
2. 地域活力を生み出す商工業の振興
3. 集客資源の創出と充実

1. とともに支え合う福祉の充実
2. 生涯元気なまちづくりの推進
3. 健康づくりの推進

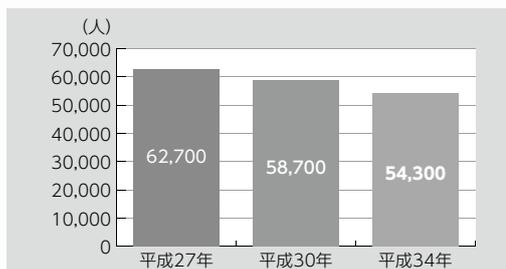
1. 快適な生活環境の形成
2. 市民生活を支える交通網の充実
3. 快適で便利な居住空間の創出
4. 安全・安心な水環境の形成

将来人口の推計

平成27年 6万2,700人

平成34年 5万4,300人

将来的な人口構造の変化によるマイナスの影響を
最小限にとどめることを目指していきます。



平成27年度 当初予算のポイント

さらなる飛躍へ

～ 合併10年からのステップアップ～

当初予算総額（一般会計） 296億5,800万円

対前年度 41億2,500万円減（△12.2%）

内 訳	予 算 額	対 前 年 度
復 興 事 業	14億4,262万円	+ 10億1,718万円
放 射 能 対 策 事 業	21億3,346万円	△ 17億5,130万円
上 記 以 外 事 業	260億8,192万円	△ 33億9,088万円

伊達市は平成18年1月1日に「伊達 織りなす未来 ひとつの心」を掲げて5町による合併をし、平成28年1月1日に10年を迎えます。

この間、総合計画や新市建設計画により、急速に進展する少子高齢化への対応に向けた諸施策に取り組んできました。

しかし、平成23年3月11日に発生した東日本大震災及びそれに端を発する東京電力福島原発事故による放射能汚染の被害により、災害復旧及び放射能対策に注力せざるを得ない状況となりました。

この3月11日をもって5年目となりましたが、これまでの取り組みにより、放射能対策に一定程度の成果が表れています。併せて、新たな市の方向性を示す第2次総合計画を策定し、「健康と個性が創る活力と希望あふれる故郷 伊達市」に向けて新たな1歩をふみ出します。

以上のことから平成27年度予算は、合併10年目という大きな節目を契機として、伊達市の更なる飛躍に向けたスタートの年度と位置づける予算編成としました。

【平成 27 年度予算 4 つの特徴】

- ①震災からの復興にむけて力強く取り組みを進めます。
- ②放射能対策事業も引き続き取り組みます。
- ③第 2 次総合計画が目指す将来都市像を実現させるための事業に取り組みます。
 - ・ 健幸都市推進事業
 - ・ 少子高齢化問題への対応
 - ・ 人口減少への対応
- ④財源を効果的効率的に投入できる財政運営に努めます。

事業説明書の構成

市は昨年度、平成 34 年までの 8 年間の方向性を示した「伊達市第 2 次総合計画」を策定しました。これまでの取り組みに加え、震災による地域環境変化への対応、また、少子高齢化社会への対応に向けての政策を、5 つの政策と放射能対策の特別対策を加えた取り組みを進めることとなります。

平成 27 年度はその初年度であることから、本書の構成は、今年度予算に計上した、「復興事業」「放射能対策事業」及び、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で示された地域創生にむけた緊急的な取り組みについて、特集として抽出しました。また後段には第 2 次総合計画の政策ごとに主要事業等を掲載しています。

【平成 27 年度 特 集】

まち・ひと・しごと創生

復興事業

放射能対策事業

今年のいち押しをピックアップ

【第 2 次総合計画 5 つ（プラス 1）の政策】

- | | |
|-------|--------------------|
| 政 策 1 | ともに紡ぐ協働のまちづくり |
| 政 策 2 | 豊かな心を育むまちづくり |
| 政 策 3 | 地域の魅力が輝くまちづくり |
| 政 策 4 | こころ寄り添う健やかなまちづくり |
| 政 策 5 | 自然と調和し快適で住みよいまちづくり |
| 特別対策 | 放射能を克服するまち |

